



はいこんちょ!

教育長のつぶやき

No.157

2024. 3/27

本年度10回の討議終了

～みんなで学校を創ろう! ⑦～⑩ シーズン2も終了!!～

「みんなで学校を創ろう!」も本年度10回開催できました。5/19に第7回目を終え、昨夜の3/26まで住民の皆さんには夜遅くまでご討議いただき本当に感謝です。27名の参加でした。

昨夜の感想には、「業者さんも含め一緒に創り上げていく楽しさ・難しさを共有することができ、本当に良かった。良いも悪いも、全て前向きな学校創りにつながっていると思う。子どもたちにもこのワクワクを伝えていきたいし、一緒に共有したい!」「地域とつながりやすい設計、とてもすてきだと思いました。子ども・大人が多様な学び方、使い方ができてワクワクします。自分たちもそこに向けて実践頑張りたいと思いました。」「住民と協議しながら創っていく…というスタイルとても良いと改めて感じています。“深まってきたぞ!”という印象です。」「PTAが集まる時など、保護者が多く参加できる時に場を作ってほしいです。」「地域で子どもを育てる場となる学校になるよう願っています。」「具体的なイメージができてとてもよかったです。皆さんの意見がいつもとても参考になります。」「毎回の課題がうまく改善されていて、本当にすごいと思いました。」「とてもいい話し合いができたと思います。ただ、子育て世代の参加が少ないのが気になります。この方たちが参加して主体となっていく工夫ができれば、と思います。」「人が集まると色々なアイデアがでるなあ、だから面白い。人数キャパ、なるほど必要な事だよな。だって“子育てするなら栄村”をアピールしていくんだからね。」「お年寄りにも優しくわかりやすい言葉、アナログ対応も大切かなと思いました。マイナンバーをナンマイダーと言っている方もいるし。デジタル化だけでは先に進めない。誰にもわかる対応が必要か。」

感想もいつもありがたく参考になります。全体の流れだと良い方向に進んでいるのはわかりますが、個々に焦点を当てると、皆さん考えていることは違うんだな～、ということも感じます。これは子どもに対する授業と同じで一斉授業を行うと、流れていてよい感じはしますが、全く理解できていなかったり不安な子供がいたりするのと同じ感覚なのでしょう。私たちはWSを通じながら子どもたちのこれから望まれる学びと同じ道筋をたどっているような感じも受けますし、その改善点をこれからの新しい学校に生かしていく使命も同時に与えられている感じがしています。

毎回短時間のうちに計画案をブラッシュアップし、提示してくださる宮本忠長建築設計事務所の4名の皆様にも本当に感謝ですし、流石プロ集団だと感じています。そのおかげで、昨日の住民評価は78% (78点) の高評価をいただきました。きっとこうした住民や教師を交えての数回にわたるWSで練り上げていく過程も宮忠さんには刺激的だと思いますし、これだけの人数でも多様な意見が出てくるので市等のレベルでは、今後どのような視点が必要なのかといった視点でも大変参考になるのではないかと感じています。

令和5年度のこの会も気持ちよく終わることができ、令和6年度にスムーズに入ることが出来ます。全ての皆さんに感謝しながら、いよいよ令和6年度の基本設計と共に、ソフトの部分にも着手したいと思っています。今晩は学校統合で現在かなりもめているお隣の住民集会に参加し、当村と何が違うのかを肌で感じてきたいと思っています。

